

# 参加システム

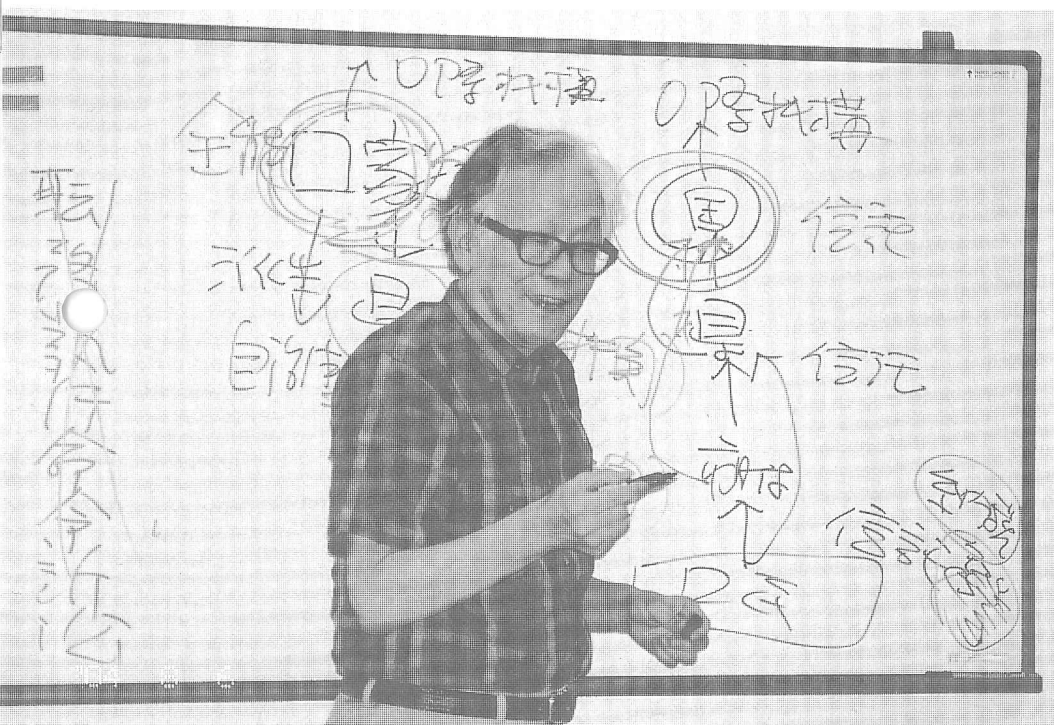
2004

市民社会を拓く理論と実践のために

9

月号

Vol. 4 No. 5(通巻34号)



定例研究会「市民発想の憲法理論をつくるために」

あすの視点：たすけあい事業への課税の考え方  
「流山裁判」に問う

田中尚輝

2

定例研究会抄録：

市民発想の憲法理論をつくるために

松下圭一

3

紙上討論： どうしたい教育基本法

杉山典子 山田功

6

佐藤洋子 福島瑞穂

7

書評： 「証言 戦後労働運動史」

菅原敏夫

8

「ホームレスと住まいの権利」

井上良一

8

かながわ時評：日本社会の「持続可能性」に黄信号

久保孝雄

9

かながわ NPO 大学／研究所だより

10

市民事業・ローカルパーティ情報

韓国環境NGO『緑色未来』メンバーを迎えて

榮恭子

11

レッツゴー to the 議会！

ENOSHIMA-V

12

本当に解決すべき課題は何か 日本生協連の新中期計画の問題点

丸山茂樹

12

引きこもりの現状と課題

浜田房子

13

次世代に対し、平和にむけて責任ある姿勢を

郡司真弓

13

高齢者と子育て支援を一体化させる仕組みづくり

八代由美

14

「子ども権利条例プロジェクト」スタート

立野憲子

14

「たがやす」国分寺準備会がたちあがりました

加瀬よりえ

14

地域政党として国政治への責任ある関与をめざす

米盛裕子

15

力出せなかった参議院選挙

岩橋百合

15

地域福祉の最前線 中心市街地のデイサービス

檜山智子

15

テキスト紹介「女性たちが勝つための条件」

荻野慶子

16

研究所に届いた書籍／編集後記

編集部

16

参加型システム研究所